緑亭川柳作

十二編上

へ13
3016
23

一壽齋國貞画

十二編下

へ13
3016
24

緑亭川柳作
十二編上
升題曲亭
へ13
3016
23

3016
23

稚仙翁春夢の図

緑亭川柳作豊國画

癸丑新板 十二編上

錦耕堂梓

春日野の蟻と蝱ハ互に我名の謂を尋雪山の夜明造栖と啼て有情非情とも更に思ひ入ることわり唐國の精衛ハ入水して其魂魄千たびと化大海ハ我敵なり埋て怨を報んと砂を含て海ハ益涸て汲干る時ハ埋潟と悦び潮満まゝ埋られとも怪む世の業是ハ譬ハ孝く中にも戯作する者此類ひ多し。さるにてもハ功をなさ成悔なきまゝ聊数まへらるまゝ可ハ喜微に心も大鵬の大志を奇ぶ羽を伸氣もいと可笑しく將ハ一帖をもの成ハ雲井の鶴れて家業ど汀の芦乃短筆のて面白く書ゆを支及ぶ八隅静けき。大御代の有ざるに百千る轉る春より稲穂る秋田苅比まぢも。吟子ぞ目ゲ見せ成。徒然慰む調度と成りて。今十二の帙を嗣。斯る稗史も童蒙の求に応ハ為ハ帝東都の名物故ゆ之。

嘉永六年癸丑春

緑亭川柳記

わすれぬ
のあ
緒の
ん
かぎろえ
とうとと
心
ぞ
くや
たのま
ゆ
曲亭園画

右

右

二
つぎ

右
十四

右
吉

嘉永八乙卯年新鐫藏版目錄

遊仙皆春雨艸帛　十四編 十五編　絲亭川柳作　一壽齋國貞画

田舍織糸線狹衣　五編 六編　仝作　同画

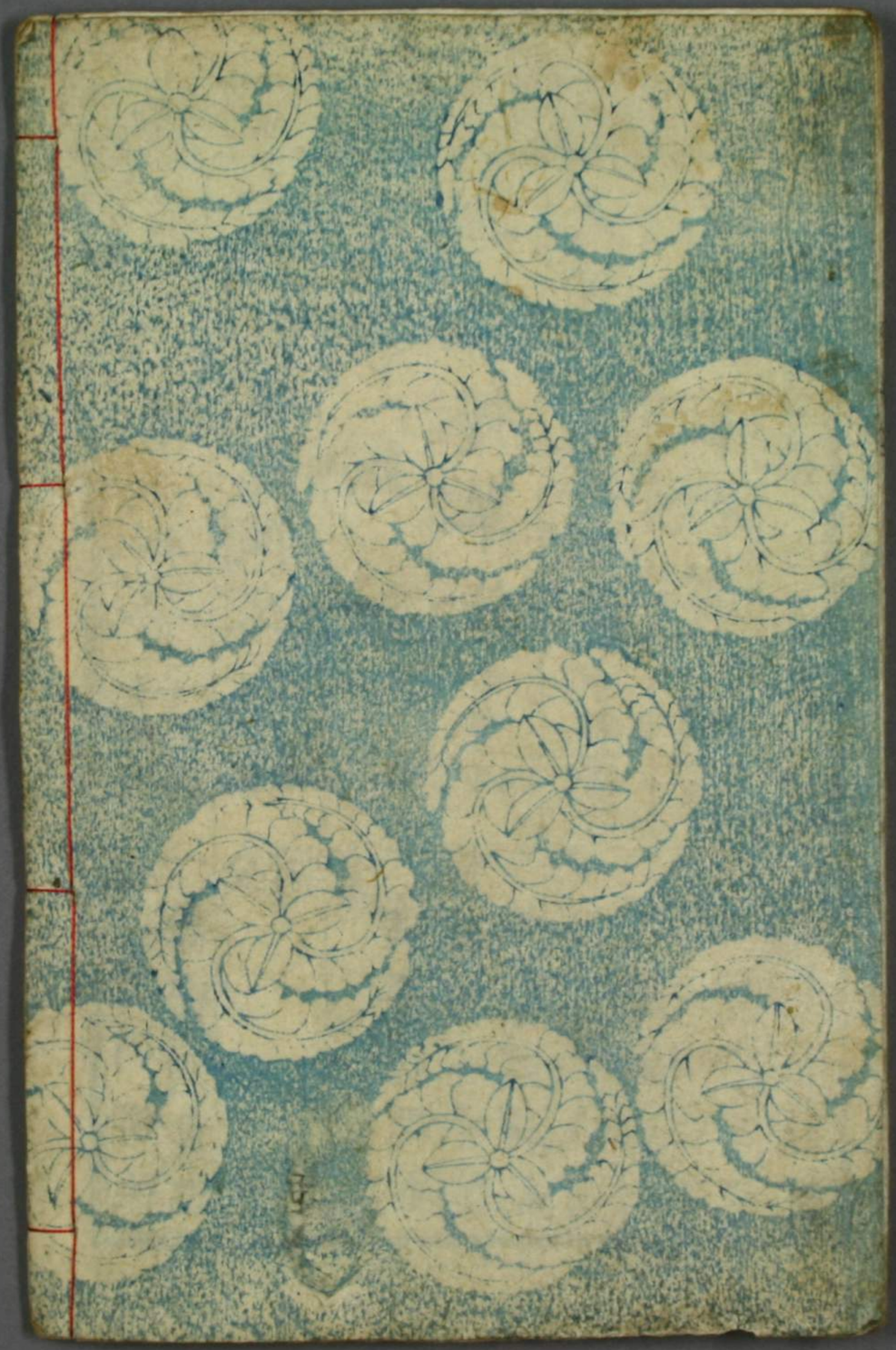
政談國盡　初編 二編　仝作　一雄齋國輝画

模花櫻草語　中本一冊　梅暮里谷峨編　一雄齋國輝画

天神一代記圖會　中本一冊　柳下亭種員著　一勇齋國芳画

容色仙代萩　三編　一筆庵英壽作　一雄齋國輝画

東都書房　馬喰町貳丁目　錦耕堂藏板



一壽齋國貞画
十二編下
豫新堂梓
へ13
3016
24

つぎ目のたま
ねらってようする
もの山ぞち
これとともくつ
はそまきとゝもさぐも
ゆへりうけるさーもおたけを
めで。ふもゆとうとうとうえん
ゆうもうるさるりふれて
そのまくふたえりるめも
ちりくーゝもものぞて
ゝこもかるびぞてきむ
ゝとかるかやとだを
むせ人まゆたち
ぞくゝさるもめれ
るるゆくさまゝり
田上の七ヤ
ちくくとつ

利
七

國貞画　川柳作

藏版新刊珍奇雜書略目録

阪東太郎後世譚 九編 西馬作 十編 貞秀画

岸柳四魔談 四編同 五編 國輝画

勧善懲悪 乘合噺 七編 柳下亭種員 八編 一壽齋國貞

詞花萱草紙 初編 墨川亭雪麿作 二編 一雄齋國輝畫

江戸鹿子紫艸紙 二編 梅彦作 三編 豊国画

今様八犬傳 七編 春水作 八編 國芳画

假名繪本忠臣藏 二冊 仝 作 仝切 同 画

俠銘鑑 三編 西馬作 四編 國輝画

象頭山多宮日記 中本冊 樂亭譚 國輝画

繪草紙問屋 東都馬喰町三丁目西側 山口屋藤兵衛